

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

■ 2014年 4月号 月1回発行 129号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：本橋 益男 TEL・FAX 03-5443-4110

東京平和運動センター ニュース

NEWS



「脱原発 3.15 集会」結集デモ 350 名が参加、
日比谷まで10km行進（第五福竜丸展示館前を出発）

目 次	
「戦争をさせない1000人委員会」	2
東京平和運動センター定期総会案内	4
フクシマを忘れない！さようなら原発3.15脱原発集会」	5
活動報告 今後の日程	6
「戦争をさせない全国署名」	7

「戦争をさせない全国署名」 全力を挙げて成功させよう

「戦争をさせない1000人委員会」は、
要請項目として

- 1 「解釈改憲」などによる集団的自衛権行使容認を行わず、憲法9条の理念を生かすことを求めます
- 2 戦争参加を進めるあらゆる立法と政策に反対します

の、「全国署名」を提起しました。すでに、各団体で「さようなら原発 1000 万人署名」を超えるような取組が進められています。

各団体の組織内だけでなく、知人・友人など各地域からの幅広い賛同が求められています。

東京平和運動センターでは、今後各地での街頭署名行動を予定しています。

本号、最終面に署名用紙を掲載しました。そのまま切り取って、またはコピーするなどして、多くの皆さんに賛同署名を働きかけてください。

送付先は、東京平和運動センター
港区芝浦 3-2-22 田町交通ビル 5F

「戦争をさせない東京1000人委員会」 発足集會に結集しよう

東京平和運動センターは、平和フォーラム・「戦争をさせない 1000 人委員会」の呼びかけにこたえ、東京における活動体として「戦争をさせない東京 1000 人委員会」を発足させることとしました。今後、幅広い団体や個人に呼びかけ、5月30日（金）午後5時30分より発足集會を予定しています。

当日は、前段で東京平和運動センター総会が開催されます。

多くの皆さんの積極的参加を期待します。

「戦争をさせない東京1000人委員会」 発足集會

日 時 5月30日（金）
17:30～18:30
場 所 東交大会議室
港区芝浦 3-2-22
田町交通ビル 5F
(JR 田町駅 3分)

内 容

- * 「戦争をさせない東京 1000 人委員会」の活動について
- * 「戦争をさせない 1000 人委員会」呼びかけ人からのあいさつ
- * 行動提起
- * その他

東京平和運動センター 定期総会

東京平和運動センターは5月30日（金）、下記により、第26回定期総会を開催します。

代議員については、すでに加盟団体に通知済みです。個人会員の皆さんの参加も歓迎します。

総会終了後には「戦争をさせない東京 1000 人委員会」発足集會も開催されます。多くの皆さん積極的参加をお願いします。

第26回総会

日 時 5月30日（金）
16:30～17:30
場 所 東交大会議室
田町交通ビル 5F
議 題 ① 2013 年度 活動報告・会計決算報告・同監査報告
② 2014 年度 活動方針・予算
③ 2014 年度 役員選出
④ その他

アピール

いま、日本はいままでとまったくちがった国に姿をかえようとしています。わたしたちが願い、誓ってきた、人間と人間が殺し合う戦争はもう絶対にしない、国際的な紛争は粘り強く話し合いで解決する、という人類普遍の理想を、安倍政権は、なんの痛みも感じることなく捨て去ろうとしています。

東洋の海に浮かぶ島国は、かつて無謀な政府のもとで背伸びをして隣国を侵略し、さらに世界を相手にして戦い、他国で 2000 万人以上、自国で 310 万人とも言われる尊い人命を奪い、深く人間の尊厳を傷つけました。

わたしたちの軍隊が行った侵略戦争は、沖縄戦をはじめ東京、大阪など各都市への空爆とヒロシマ、ナガサキへの原爆投下をもたらし、その傷跡は戦後 69 年たってもなお、いまだ癒えていません。

焼け跡の中から生まれた「日本国憲法」は、このような過ちを二度と繰り返さない、という心からの誓いによる平和主義を基調としています。この 69 年間、日本は一度も戦火を交えることなく、武器によって殺しも殺されもせず、世界に平和を訴え続けてこられたのも、この平和憲法が世界で支持されてきたからでした。

ところが、いま、政府は愚かにも、人類の英知というべき平和憲法を廃棄し、「国防軍」を創設することを公然と語りはじめました。そして、「戦争のできる国」をめざして、これまで

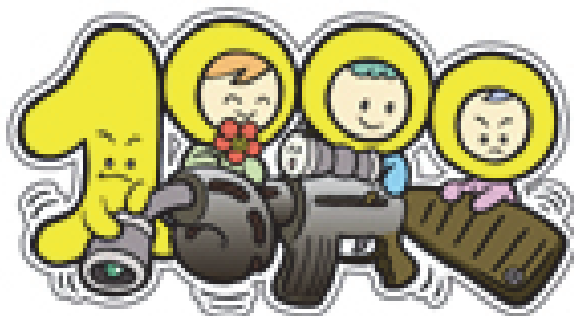
憲法違反としてきた「集团的自衛権」行使の合憲化をはかろうとしています。そのため内閣法制局の長官を交代させ、さらに、アメリカに倣った「国家安全保障会議」（日本版NSC）を創設し、ろくに国会で審議をしないまま、秘密国家とすべく重罰を科す「特定秘密保護法」制定を強行しました。また、沖縄の犠牲を解消することなく名護市辺野古への新基地建設も強行しようとしています。

そして、消費税増税を尻目に防衛予算を増強し、本格的な戦争準備のために、南西地域の防衛体制の強化と水陸機動団の創設、航続距離の長いオスプレイや空中給油機、水陸両用戦車、無人偵察機などの導入を図っています。そればかりか、「武器輸出」を拡大させようとしています。

このように、戦争のための準備がすすめられています。昨年暮の安倍首相の抜き打ち的な靖国参拝は、政教分離の違反であるばかりでなく、自衛隊員の「戦死」を想定したものとも言えます。また、原発政策の基となる原子力基本法にも、宇宙開発政策の方針を定める宇宙基本法にも、「安全保障に資する」という文言が盛り込まれました。

ハードとソフトの両面からの戦争体制が整備されていることに、わたしたちは深い疑念と懸念を抱き、いまここで、未来を平和であり続けたいと願う人びととともに、あらゆる行動を起こすことを呼びかけます。

平和のうちに生きたいとする願いは、世界の人びとの共通のものです。わたしたちはそれをさら広げるために、憲法九条を空文化し、集団的自衛権の行使を認め、戦争準備をすすめる秘密国家をつくろうとする政府への批判活動と行動をつよめます。



**戦争をさせない
1000人委員会**
Anti-War Committee of 1000

**「憲法を破壊する集団的自衛権行使反対！
戦争をさせない 1000 人委員会出発集会」
3 月 20 日 日比谷野外音楽堂**

3 月 20 日、東京・日比谷野外音楽堂で、「憲法を破壊する集団的自衛権行使反対！ 戦争をさせない 1000 人委員会出発集会」が開催されました。

最初に、開会のあいさつに立った鎌田慧さん（ルポライター）は、集団的自衛権行使容認へ突き進む安倍政権と対決し、戦争をなくし、みんなが明るく生きていける社会をめざす運動として「戦争をさせない 1000 人委員会」のネットワークを全国に広げようと訴えました。

大江健三郎さん（作家）、山内敏弘さん（憲法研究者・一橋大学名誉教授）、池田頼将さん（元イラク派遣航空自衛隊員）、小山内美江子さん（脚本家）、落合恵子さん（作家）、佐高信さん（評論家）が発言しました。



これからの行動として、福山真劫さん（平和フォーラム共同代表）が、次のように提起しました。

- ・「戦争をさせない 1000 人委員会」に参加・賛同してください。地域や職場に、参加・賛同の輪を広げてください。
- ・全国で署名運動にとりこんでください。第一次の締め切りは 5 月末です。
- ・地域や職場で、「戦争をさせない」、集団的自衛権の行使容認を許さないという集会、学習会などの行動を強めてください。
- ・国会議員や全国の地方自治体の議会に対して、集団的自衛権の行使容認は絶対許さないという要請行動を強めてください。
- ・閣議決定が最大の山場です。そのときは全国から、駆けつけていただきたいと思います。

**「フクシマを忘れない！ さようなら原発
3. 15 脱原発集会」**

2011 年 3 月の東日本大震災・福島原発事故から 3 年。いまだに 14 万人以上の方々が困難な避難生活を強いられています。そして、震災による直接死を上回る震災関連死を生み出しています。その一方で、安倍政権は、原発再稼働、原発輸出を企て、原発推進の旗を振り続けています。脱原発世論を無視する安倍政権を許さず、ふたたび脱原発の声を、行動を広げていこうと、3 月 15 日に東京・日比谷野外音楽堂に市民など 5500 人が集まり「フクシマを忘れない！ さようなら原発 3. 15 脱原発集会」が開かれました。

**3. 15 脱原発集会 結集デモに 350 名参加
第五福竜丸展示館から
日比谷野音まで 10 km をデモ行進**

東京平和運動センターは、福島から関東・東海の各県を結んだ「フクシマ連帯キャラバン行動」を東京の地で引き継ぐ、

3. 15 集会結集デモを実施しました。



「フクシマ連帯キャラバン行動」隊のみなさんを先導する形で、新木場の第五福竜丸展示館を 9 時 30 分にスタート 10 km のコースを歩き続け、日比谷野音の集会に結集しました。

スタートの集会では、原水禁の藤本事務局長や第五福竜丸展示館の安田事務局長から励ましのあいさつを受けました。ビキニデーから 60 年、ヒロシマ・ナガサキ⇒第五福竜丸⇒フクシマを忘れない行動として、意義あるものとなりました。

活動日誌

02. 25 狭山事件の再審を求める東京集会
(18:30 台東区民会館)
03. 08 福島県民集会 (郡山・いわき・福島)



03. 09 2014 解放セミナー (13:00 東京都人権プラザ)
03. 15 「脱原発 3. 15 集会」結集デモ
(9:30~第五福竜丸展示館前)
フクシマを忘れない! さようなら原発
3. 15 脱原発集会 (日比谷野音)
03. 20 戦争をさせない 1000 人委員会出発集会 (18:00 日比谷野音)
03. 25 オスプレイ横田基地配備反対署名提出行動 (外務・防衛省)
04. 5, 6 反核燃集会 (青森市)
04. 09 関東ブロック幹事会
04. 11 狭山事件の再審を求める三多摩集会
(立川)
04. 18 東京平和運動センター常任幹事会
04. 21 オバマ大統領に異議申立て「辺野古新基地建設 NO! 市民集会」 (連合会館)
04. 22 沖縄と連帯する東京集会 (18:30 文京シビックセンター)
04. 24 原水禁・平和フォーラム定期総会

今後の日程

05. 03 憲法記念集会 (13:30 日本教育会館)
05. 15~18 5. 15 沖縄平和行進
(東京派遣団 17~19)
05. 16 狭山映画 西北上映会 (18:30 豊島区民センター)

05. 23 三多摩平和運動センター定期総会
(18:30 三労会館)
05. 30 東京平和運動センター常任幹事会
(15:30 東交会議室)
定期総会 (16:30 東交会議室)
05. 30 「戦争をさせない東京 1000 人委員会」
発足集会 (17:30 東交会議室)
7. 27 原水禁福島大会
08. 05~09 原水禁広島・長崎大会

第 64 回東京平和運動センター常任幹事会

2014. 4. 18

協議事項

- 1 常任幹事の変更
都高教 小嶋 ⇒ 富崎 豊和
- 2 第 26 回 定期総会の開催について
日時 5 月 30 日 (金) 16:30~
場所 東交会議室
議題 ① 2013 年度 活動報告・会計決算
報告・同監査報告
② 2014 年度 活動方針・予算
③ 2014 年度 役員選出
④ その他
- 3 戦争をさせない 1000 人委員会の取り組み<別添資料>
- 4 さようなら原発 1000 万人行動について
- 5 狭山事件再審の取り組み
- 6 その他
高校生平和大使派遣の取り組み
2014 年派遣に向け、三多摩の取り組みに全面支援する。
- 7 次回幹事会
5 月 30 日 (金) 15:30~

「戦争をさせない全国署名」

次頁、裏表が署名用紙となっています。
ご活用ください



戦争をさせない全国署名に ご協力お願いします

安倍政権は、昨年12月、多くの人々の大きな反対の声をねじ伏せ、憲法の三原則である「国民主権」や「基本的人権」を侵害する「特定秘密保護法」を強行採決・成立させました。さらに、今度はもうひとつの原則「平和主義」を規定した憲法9条を空文化する「解釈改憲による集団的自衛権行使容認」「国家安全保障基本法強行」へと踏み込もうとしています。このままでは、日本は、「地球の裏側」まで、場所を問わず戦争に参加できる国となります。

早ければ今夏にも「解釈改憲」と閣議決定による「集団的自衛権行使」容認を強行することが予想されます。この動きに断固反対する世論醸成に向け、安倍首相に対する「戦争をさせない全国署名」運動をすすめます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

第1次署名締め切り：5月31日

署名用紙に記載の「送り先住所」にお送りください。

<署名についてのご注意>

- ・この署名は日本にお住まいの方であれば、年齢・国籍を問わず署名できます。
- ・署名は原則的に自筆でお願いします。ただし、自筆で書けない事情があり、ご本人の承諾があれば、代筆も可能です。
- ・署名用紙はコピーしていただいてもかまいません。
- ・署名用紙はウェブサイト <http://anti-war.info/shomei> からダウンロードできます。
- ・事務局にご連絡をいただければ、署名に必要な資材（署名用紙、チラシなど）は必要枚数お送りします。
- ・「取り扱い団体」欄は、必要な方以外は空欄のままでかまいません。
- ・お送りいただく際は署名済み用紙そのものを、封書でお送りください。コピーをとったものや、FAXでの送付は無効です。
- ・いただいた署名は、政府へ提出する以外の目的では、使用いたしません。
- ・そのほか、ご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

戦争をさせない1000人委員会 事務局

101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

<http://anti-war.info> mail: info@anti-war.info tel: 03-3526-2920 fax: 03-3526-2921

憲法を破壊する「集団的自衛権の行使」容認に反対します 戦争をさせない全国署名

内閣総理大臣 安倍晋三 様
衆議院議長 伊吹文明 様
参議院議長 山崎正昭 様

【趣旨】

これまで、ほとんどの戦争は「自衛のため」という名目で行われてきました。「侵略のため」といって始められた戦争はありません。だから、1946年の衆議院本会議で、当時の吉田茂首相は、憲法9条の平和主義について「直接には自衛権を否定しておりませぬが、第9条第2項において一切の軍備と国の交戦権を認めない結果、自衛権の発動としての戦争も、また交戦権も放棄したのであります」と答弁したのです。

しかし、その後、自民党を中心とする歴代の政権は、憲法解釈を転換し、個別的自衛権はあるけれども憲法9条によって集団的自衛権は認められないという解釈をとってきました。つまり、日本の「自衛」は認められるけれども他国の戦争に加担する「他衛」は認められないということです。

今度、安倍首相は自民党の先輩首相に反してまでも、集団的自衛権行使の容認に踏み出そうとしています。これは明らかに日本を、戦争をする国にしようということです。それによって憲法9条を空文化することをねらっており、私たちはその愚行に強く反対します。

また、特定秘密保護法の強行採決は、市民から情報を隠し、戦争をする国への体制固めに他なりません。

「戦争で得たものは憲法だけだ」。これは元海軍少年水中特攻兵だった作家の城山三郎さんの遺した名言です。あらゆるものを破壊し、人びとから奪い去る戦争を、二度としないという決意が、日本国憲法には込められているのです。

私たちは、日本国憲法の理念をないがしろにし、この日本を、戦争をする国へとつくりかえようとするあらゆる動きに反対します。個人が個人として尊重され、平和に生きることのできる社会をつくることを求めます。

【要請項目】

1. 「解釈改憲」などによる集団的自衛権行使容認を行わず、憲法9条の理念を活かすことを求めます。
2. 戦争参加をすすめるあらゆる立法と政策に反対します。

請願者

名 前	住 所

呼びかけ団体/送り先	取り扱い団体
戦争をさせない1000人委員会 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3階 電話03-3526-2920 mail:info@anti-war.info	